

方式をとり入れたテラックスな新保養所「あづま荘」が昭和45年5月1日にオープンした。

新施設あづま荘は、宿泊棟と会合棟に別かれ、全館冷暖房を完備し、宿泊においては最大130名、会議・会合においては263名の収容能力をもち、独立した総合結婚式場をもつ立派な建物で、ゆったりとしたロビーをはじめとし、土産品コーナー・娯楽コーナー・バー・食堂・大浴室等と利用者のための設備が整った近代的な保養所である。

保養施設が、福祉性と独立採算性の両原則に基づいて運営されることになっているので、一方においては組合員並びにその家族のための福利厚生事業の一環として、格安のサービス精神を発揮させ、他方においては独立採算のとれる運営に当らねばならない二面性をもっている。

当保養所における本年度決算は懸命な努力にもかかわらず、前初年度同様赤字経営に終わった。しかしながら当所はまだ開設2年目でもあり、職員の不なれや、啓蒙の不徹底、特に婚礼及び団体宴会等に対するPR不足等も考えあわせると進むを得ないものと思われる。

以下本年度の利用状況並びに決算状況は次のとおりである。

(1) 利用状況

① 宿泊

ア、年間宿泊可能人員	36,500人
イ、年間実宿泊人員	23,620人
内訳	
組合員	20,713人
組合員外	2,907人
ウ、宿泊利用率	64.89%

② 宿泊外（会議・宴会・婚礼・休憩等）

ア、年間利用可能人員	95,995人
イ、年間実利用人員	17,472人
内訳	
組合員	16,820人
組合員外	652人
ウ、宿泊外利用等	18.2%
エ、婚礼組数	13組

(2) 決算状況

① 収入	82,491,874円
ア、施設収入	76,465,637円
イ、商品売上	4,370,013円
ウ、寄付金	1,000,000円
エ、利息	438,951円
オ、賃貸料	123,000円
カ、雑収入	94,273円
② 支出	104,998,549円
ア、人件費	29,285,679円
イ、材料費	20,957,959円
ウ、営業費	16,916,919円
小計	67,160,557円
エ、支払利息充当額	17,742,996円
オ、調整分扣金	434,004円
カ、退職金引当相当額	1,464,996円
キ、原価消却引当相当額	14,805,000円
ク、修繕引当金相当額	1,482,996円

コ、その他の引当金相当額	1,908,000円
小計	37,837,992円
③ 損益	△22,506,675円

8. 福島県教職員互助会事業の概要

教職員互助会は、教職員の相互共済と福利増進を図ることを目的として設定された条例に基づく団体で、会員の掛金、県補助金その他資金の運用利息等の財源をもって、家族医療費等の短期給付又は退職金制度に変わるものとして会員年数に応じ給付する退会金（段階制定額金）の長期給付、その他貸付及び各種の厚生事業を広範囲にわたり行った。

以下本年度実施した事業内容は次のとおりである。

(1) 家族医療費	191,250件	349,836,111円
(2) 死亡弔慰金	308件	1,603,000円
(3) 出産見舞金	1,163件	1,356,500円
(4) 結婚手当金	500件	9,490,000円
(5) 災害見舞金	55件	3,244,420円
(6) 療養見舞金	117件	725,000円
(7) 医薬品補給給付金	3,995件	20,656,225円
(8) 退会金	480件	19,479,500円
(9) 一般貸付金	536件	54,860,000円
(10) 厚生事業費		7,621,405円

内 訳

○指定旅館利用補助

649件 3,245,500円

○長期療養者見舞金

ヘルスマーター	7件	16,660円
タオルケット	2件	4,860円
毛布	12件	29,520円

○退職会員医薬品贈呈

医薬品セット 331件 662,000円

○へき地通院費助成	128人	185,980円
○へき地妊婦検診費助成	287人	97,580円
○夏期研修旅行参加者助成	89人	445,000円
○ヨーロッパ研修旅行参加者助成	9人	450,000円

○会員レクリエーション助成 1,400,000円

○スキー講習会参加者助成 128人 250,215円

○尾瀬探勝会 168人 678,220円

○指定旅館（あづま荘）会議室使用料補助
19件 155,870円